

# ULT通信

あると

2015. 9. 29 号 / vol. 57 発行 / ULT 図書館司書

早いもので、9月もうすぐおしまいです。連休明けに行われた白翔祭、皆さん楽しみましたか？文化祭が終わると秋はすぐそこ。浦学にも読書の秋がやって来ました！

ULTで借りよう♪  
今、さいたままで  
熱い本たち！

皆さんは自分の住んでいる街の図書館に行ったことがありますか？図書館には予約制度というものがあります。貸出中の本が返却されたらすぐに借りられるように、という利用者のニーズに応えた図書館のサービスです（ULTにももちろんありますよ）。しかし、多くの利用者がいる街の図書館では途方もない数の予約者が発生することも…。そこで、今回はさいたま市図書館の予約数ランキングを参考にして、ULTでも借りられる注目作をピックアップしました。今、さいたまの本好きが狙っている本はこれだ！



『火花』  
又吉直樹  
文藝春秋  
予約数 3510 件！



『ラプラスの魔女』  
東野圭吾  
KADOKAWA  
予約数 1836 件



『フランス人は10着しか服を持たない』  
ジェニファー・スコット  
大和書房  
予約数 1484 件



『村上さんのところ』  
村上春樹  
フジモトマサル  
新潮社  
予約数 210 件



『武士道 ジェネレーション』  
菅田哲也  
文藝春秋  
予約数 353 件



『絶対にいけない世界の非公開区域 99』  
ダニエル・スミス  
日経ナショナル  
ジオグラフィック社  
予約数 96 件



『村上海賊の娘 上・下』  
和田竜  
新潮社  
予約数 1818 件



『鹿の王 上・下』  
上橋菜穂子  
KADOKAWA  
予約数 1707 件



『学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』  
坪田信貴  
KADOKAWA  
予約数 678 件



『有頂天家族 二代目の帰朝』  
森見登美彦  
幻冬舎  
予約数 116 件

予約数は9月16日現在のものです。作成にあたり、さいたま市図書館のホームページを参考にさせていただきました。  
→<http://www.lib.city.saitama.jp/>

これらの予約件数を見ると、図書館がいかに多く利用されているかがわかりますね。また、本を読みたいけど、何を選べばいいかわからない…という人にとって、人気の本・話題の本は、本選びのひとつの指標になります。それだけ多くの人々の心をつかんでいる作品ということですから。そこから今度は自分好みの作家・ジャンルを探してみましょう。今回紹介した本は、ULTならすぐ借りられるかもしれませんよ。貸出中は、ぜひ予約してください。

## ULT NEWS

アートコース作品展開催！

10月2日より、毎年恒例のサマーアートキャンプの作品展をULTで行います。アートコースの皆さんの素晴らしい作品達が、秋のULTを彩ってくれます。ぜひ見に来てください！



# 新着案内

7・8月の新着は115点です。  
一部抜粋で紹介します。



↓ULTで身に付けよう。様々な知識・教養の本。

タイトル	著者名	請求記号
自由への長い道 上・下 ネルソン・マンデラ自伝	ネルソン・マンデラ	289.487-Mar-1・2
シンガポール 謎解き散歩	田村慶子ほか	302.2399-タム
「ストーカー」は何を考えているか	小早川明子	368.6-コハ
東大合格生のノートはどうして美しいのか?	太田あや	376.8-オオ
空想科学読本 3・4 新装版	柳田理科雄	404-ヤナ3・4
ペンギンが教えてくれた物理のはなし	渡辺佑基	481.7-ワタ
埼玉化する日本	中沢明子	672.134-ナカ
心を整える。: 勝利をたくり寄せるための56の習慣 (幻冬舎文庫)	長谷部誠	同窓会-68

↓有名な海外小説から人気のライトノベルまで、小説も多数入りました。

タイトル	著者名	請求記号
三三〇五年の夏休み 上・下 (電撃文庫。メグとセロン 1)	時雨沢恵一	913.6-シク1・2
ぼくらの七日間戦争 改版 (角川文庫)	宗田理	913.6-ソウ-1
コンビニたそがれ堂 奇跡の招待状 (ポプラ文庫ビューアフル)	村山早紀	913.6-ムラ-2
舞姫: 現代語訳	森鷗外	913.6-モリ
アルジャーノンに花束を 改訂版	ダニエル・キイス	939.37-Ke
チャーメインと魔法の家 3	ダイアナ・ウィン・ジョーンズ	933.7-Jo-3

↓防災関係の本。決して他人事ではありません。

タイトル	著者名	請求記号
4コマですぐわかるみんなの防災ハンドブック	草野かおる	369.3-クサ
民間防衛	スイス政府	393.6-Sc
知識ゼロからの異常気象入門	斉田季実治	451-サイ
気候変動適応策のデザイン	小松利光	519.1-ミム



第57回は、笹木萌が担当です。

お題は「人間の欲望うずまく一冊」。いつもさわやかな高橋さんらしからぬテーマです。笹木用だからでしょうか(笑)。

## コラムde11ー。

思いついた一冊は、『シスターズ・ブラザーズ』です。このふざけたような題名は、主人公兄弟の苗字が「シスターズ」だから。兄・チャーリーは、大酒のみで気が短く口が悪い。人の命や金を簡単に奪う冷血漢です。弟・イーライは、大きな体でお人好し、出会った女の子にすぐお金をあげちゃったりする。かと思えば、ブチ切れたらチャーリー以上に超凶暴！本の帯に書いてあるキャッチコピー曰く、「兄、危険。弟、もっと危険」。…キャラ立ってますな(笑)。帯にはあらずしも書いてあります。「ゴールドラッシュに沸くアメリカ西海岸、名高き殺し屋

シスターズ兄弟の、ブラック&ブラッドな旅路」。欲望の匂いがプンプンしてきます！

殺しの依頼を受けてカリフォルニアへと向かうシスターズ兄弟。暴力と糞度胸を武器に、旅の途中で出会う人々、砂金に群がる山師たち、依頼人とターゲット、さまざまな人物の思惑をブツ飛ばして突き進みます。しかし、陰惨で殺伐とした小説かと言えばそうではなく、兄弟の会話はちょっとずれていておかしみがあり、物語はテンポよく展開するし、コメディタッチのロードムービーを見ているような高揚感があります。

無頼で非道なシスターズ兄弟ですが、幼い頃の出来事や、母親のもとに帰るエピソードなどが淡々と描かれると、彼らの人間味が立ち現われてくる気がします。エンタテインメントとして最高、文学の要素もあり、読み応え十分の傑作だと思います。作者パトリック・デウィットの出身国カナダでは、文学賞を4つも受賞したそうですよ。

チャーリーとイーライの掛け合いが楽しい『シスターズ・ブラザーズ』。それにちなんで次回のお題は「バディもの」にします！ 相棒 season14 も始まるし☆